

国 語	第 2 学年	1 年間の学習内容とねらい
-----	--------	---------------

国語科の目標		学 習 内 容	学 習 の ね ら い
（１）自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身につけます。また、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てます。 （２）様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身につけます。また、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てます。 （３）目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけます。また、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てます。		前期	- 言葉の用い方や表現の特徴に注意し、自分なりの感想を持ちながら読む。 - 登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して作品を読みとる。 - 日本の四季を描いた情景描写のたくみさを読みとり、作者の四季のとらえ方について自分の考えを持つ。 - 目的や状況に応じて情報を選択し、大事な点を落とさずに聞き取る。 - 類義語と対義語、多義語の意味や用法に注意する。 - 形に注意しながら正しく、美しい文字を書く。 - 文章の全体と部分の関係や具体的事例の役割などに注意して読み、内容を理解する。 - 情報を集め、論理的でわかりやすい構成を考えて説明する。 - 熟語の構成について理解する。 - 短歌に示された語句の効果的な使い方や文章の描写の効果を理解する。 - 活用のある自立語と活用のない自立語の働きを理解する。 - メディアについて知識や体験と関連づけて自分の考えを持つ。 - 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめる。
評価の観点・方法			
国語科では、次の五つの観点で学習の評価します。 【評価の観点】 ①国語への関心・意欲・態度 国語に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。 ②話す・聞く能力 自分の考えを豊かにしたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。 ③書く能力 自分の考えを豊かにしたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。 ④読む能力 目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。 ⑤言語についての知識・理解・技能 表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身につけている。書写では文字を正しく整えて速く書く。 【評価の方法】 ☆授業の取り組み態度。 ☆ノート・ワークブック・宿題・課題の提出状況。☆硬筆・毛筆の作品。 ☆スピーチ・発表会・話し合い活動の状況。 ☆小テスト。（漢字テスト・復習テスト・暗記・暗唱テスト・課題作文） ☆定期テスト。（中間テスト・期末テスト）		中期	- 方言や心情を表す語句の効果的な使い方を理解し、表現を読み深める。 - 人物の言動や様子を描いた表現、心情を表す語句に着目して読み、その人柄や心情をとらえる。 - 敬語表現の特徴について理解を深め、その使い方を身に付ける。 - 伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して書く。 - 初めて知ったことなどを、知識や体験と関連付けながら確認し合い、文章中の物の見方や考え方について自分の考えを持つ。 - 音読し、言葉の響きや調子を味わう。 - 古文の表現に慣れ、その特徴をつかんで読み味わう。 - 場面の状況から、その場に置かれた人物の心情をとらえる。 - 漢詩特有の調子を生かして読み味わう。 - 文中に述べられている事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取る。 - 文章のまとまりに着目し構成をとらえる。 - 自分の立場を明確にして、意見を持ち、その根拠を示す。 - 同音異義語について理解する。 - 形に注意しながら筆を用いて正しく、美しい文字を書く。
特色ある学習方法			
○漢字練習や音読、朗読、視写、聴写、暗唱などを多く取り入れて国語の基礎的な力を養います。 ○発表（個人・グループ）やスピーチ、作文、話し合い活動など様々な学習形態を取り入れて、生徒が主体となる授業を展開します。 ○同一内容の文章を読み比べたり、有名な文学作品を読み味わったりします。専門家の朗読のCDを聴いたり、映画化された文学作品の視聴もします。 ○様々な団体や協会の主催する作文や書道コンクールに応募しています。 ○市の行事にあわせて俳句作品や書道作品の参加をしています。 ○「漢字検定」を年三回実施しています。		後期	- 人物の生き方や考え方について、自分の意見を持つ。 - 描写や会話に着目し、登場人物の人物像の変化を読み取る。 - 付属語について理解する。 - 気持ちの変化が効果的に伝わるように、ある視点を定め、表現を工夫して書く。 - 方言と共通語の果たす役割について理解する。 - 送り仮名の付け方の原則を理解する。 - 題材を決め、話の構成や展開などに注意して話の要点を聞き取る。 - 筆者の考え方について知識や体験と関連付けて自分の考えを持つ。